

千葉県の野鳥糞便から 低病原性鳥インフルエンザウイルス(LPAI)が確認されました！！

低病原性鳥インフルエンザウイルス（LPAI：H7亜型）が、千葉県において採取された野鳥の糞便から検出された旨、農林水産省から連絡がありました。

韓国でも、野鳥の糞便からLPAI（H5亜型）が検出されており、我が国への本病侵入リスクが高まっています。

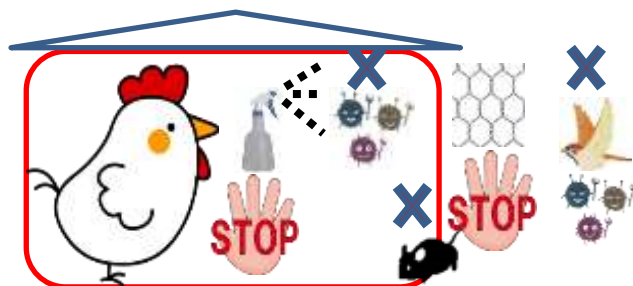
低病原性鳥インフルエンザとは

高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)以外のH5または、H7亜型のA型インフルエンザウイルス感染による家きんの疾病。

ほとんど症状を示しません。HPAIに変異することがあるため、HPAIと同様に殺処分及び制限区域設定による蔓延防止、早期撲滅で対応を行います。

既に渡り鳥は飛来しています！
厳戒態勢でHPAI発生予防対策を徹底してください！！

病原体侵入防止、まん延防止のため、飼養衛生管理基準を厳守してください！



- 野生動物対策徹底！
- 鶏舎出入口や周辺消毒徹底！
- 対策の点検改善！
- 毎日の健康観察！
- 早期発見、早期通報！

- ◆ 鳥インフルエンザを疑う症状があれば直ちに当所に連絡
- ◆ 過去21日間の平均死亡率の2倍以上の死亡率を確認した際の通報
- ◆ 農場及び鶏舎入出時の消毒徹底
- ◆ 防鳥ネット等の破損箇所は補修し、野鳥・野生動物侵入防止を再徹底
- ◆ 関係者以外の農場への立入制限（特に海外渡航歴の確認）

京都府南丹家畜保健衛生所

TEL: 0771-42-3308（夜間・休日も転送機能あり）